

鉈屋町
町内会だより

7月11日
資源回収

ダンボールを持って外に出たら雲行きが怪しい。回収場所についでいく間に小雨が降り始めました。



各場所を回ると、傘をさしたりして皆回収車を待っています。雨が止みそうにありません。

不定期発行
発行者 鉈屋町町内会
編集/文責/撮影 桂 汎用工房 脇田 桂一郎
印刷 小松総合印刷株式会社



回収場所によっては役員の判断で、お手伝いに来てくれた方々に早めに解散したところもあったようです。

アリスさんの回収車がやってきました。この頃にはやや雨も弱まってきました。

缶類を袋から出して回収するため、大きめの袋を用意していただいたり、



カゴに入れ替えるのも2回目なので、前回よりはスムーズにいった感じです。



すべての回収が終わる頃には雨も上がりました。暑さには寒さにしろ、天候だけは思い通りにはならないものです。参加してくださった皆様お疲れ様でした。



次回の資源回収は9月12日、日曜日となります。皆様のご協力をお願いいたします。



伝統文化 てはじめフェス

文化庁、伝統文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会、NPOいわてアートサポートセンターの主催による「伝統文化てはじめフェス」が、もりおか町家物語館で7月17日から25日にかけて行われました。



これは「文化庁 子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業」の一環として行われたもので、新型コロナウイルスで体験機会が失われた子供たちの伝統文化等の体験・修得の機会を早急に回復することを目的としているそうです。

民謡、茶道、華道、書道、江戸糸あやつり人形芝居、邦舞、能楽と幅広い範囲の伝統文化芸能が揃い、多くの親子さん方が参加されていました。



三味線の体験です。持ち方(構え方)が意外と難しそうに見えました。

こちらは尺八です。なかなかうまく音が出ません。



書道って、今でも学校の授業でやるんですよね？



見学させてもらって興味深かったのは、「結城座」さんによる江戸糸あやつり人形でした。

「手板」と呼ばれる独特の操作盤で操ります。

初めて触った子どもたちが操っているのに、人形が実に自然な感じに動き出すのがなんとも不思議です。





最後に曲目「船弁慶」の後場で、平知盛の怨霊が現れて義経に襲いかかる場面が演じられたのですが、まさに圧巻でした。



そして能楽。
子どもたちが模造刀で日本刀の扱いや構えを習います。鬼滅の刃効果なのか、妙に堂に入った子もいたりします。



舟っこ流しの模型

鉾屋町シェア工房さんの前に「舟っこ流し」の舟の模型が飾ってありました。製作したのは町

内会役員で舟っこ担当の「棟梁」こと山本信雄さん。実際の舟っここの2分の1くらいになるのでしょうか、舟の形状はもちろんのこと、細かな装飾に至るまで作り込まれています。



舟っこの口には火を吹き出すため、発煙筒が仕込んであるのですが、それだけでなく、発煙筒の表面を包んでいるフィルムの模様まで作り込んでいます。



真ん中にお墓が積んであるんですね。今まで知りませんでした。

思えば舟っこ流しの舟っこは、火を点けて燃やしてしまうのですから、作っても残ることがないわけです。このような模型があることによつて、写真や図面では伝えきれないものを、後世にも託すことができるのではないのでしょうか。

大慈寺小学校5年生 地域学習

大慈寺小学校5年生の児童たちが、地域の店を訪問する学習会が7月6日に行われました。

今回は新しい店と、古くからある店の両方を見学しようということで、まずは新しい方として、正藍の型染工房「some-mono」さんを訪れました。説明をする佐々木さん。



次に古くからの店として「かわてつ」さんへ。かわてつの専務さんからお話を聞きます。



その後、案内役の大坊顧問から旧街道や水路の説明があったり、大慈清水御休み処を訪れたり、鉾屋町界隈の昨今を感じる時間でした。



朝顔日記 2

アーチ状にしようとして2.5ミリの針金で骨組みを作ったのですが、朝顔が伸びるにしたがつて、どんどん形が歪んでいきます。植物強し。あちこち引つ張ったり、補強してますが限界がありそうです。



7月17日、最初の花が咲きました。こちらは成長が早く、次々と咲き始めます。23日での状況。



プランターの方は24日に初めて咲きました。が、咲く数は、まだ遥かに少ないです。背の高さもそれほど大きくありません。(桂)

